

時空をこえて

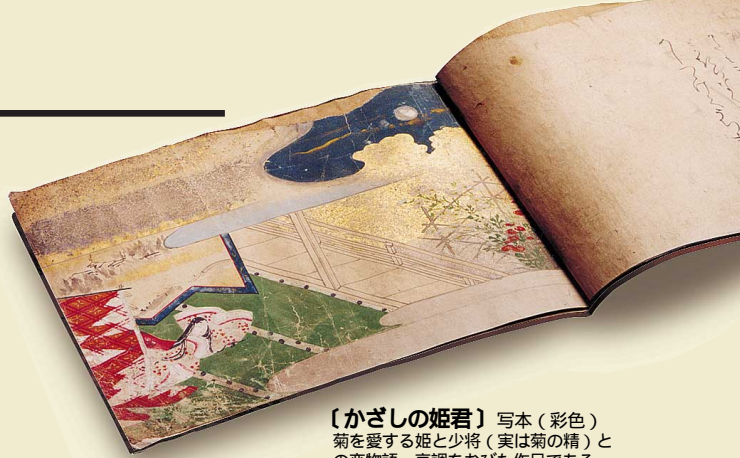
貴重書の世界

奈良絵本(ならえほん)

室町末期から江戸前期にかけて、色彩感あふれる手書きの本がうみだされた。奈良絵本 - それは絵本のはじまりともいわれている。

挿絵の色調は、原色を主とした濃彩。後期の作品には、金銀をちりばめた多彩絢爛なものが多くみられる。その豪華さから、嫁入り本などとしてもはやされた。また、ほとんどの作品で、本の天地に青色や金砂子の雲霞が引かれているという点もおもしろい。

この時代には大名たちの集書が流行し、やがて富裕な町人や地主階級にまで購買層がひろがったという背景がある。本の内容にしても、御伽草子をはじめ、謡曲や古浄瑠璃、軍記物など多様であった。



【かざしの姫君】写本(彩色)
菊を愛する姫と少将(実は菊の精)との恋物語。哀調をおびた作品である。

本館にも奈良絵本が一冊残されている。横長本で本文10丁、挿絵片面4図。残念ながら、表紙と本文後半約2丁分を欠いている。書名の記載がなく、不完全な体裁ではあるが、慶応義塾図書館所蔵の『かざしの姫』、またハーバード大学附属フォグ美術館寄託の『菊の精物語』と同内容である。

わたしのこの一冊 My Favorite Book

『葉柳に... 俳人阿部みどり女ノート』

著者・発行 蓬田紀枝子(仙台)1999年

「つつましくもひたすらに」 仙台市 今田 拓

宮城を代表する俳句結社「駒草」の現主宰である蓬田紀枝子の『葉柳に... 俳人阿部みどり女ノート』が、平成11年度の第14回俳人協会評論賞に輝いた。『葉柳に...』は、「駒草」の創始者であり、かつて筆者が師事したみどり女の追憶をまとめたもので、みどり女というヒロインを、正確な記録と記憶に基づいて紹介している。

みどり女は明治19年生まれ、昭和55年、94歳の長寿でこの

世を去っているが、大正元年(26歳)に俳句を始めた背景には、新婚時代の結核感染、療養生活という追いつめられた事情があった。高浜虚子に師事、「ホトトギス」女流としての地位確立、昭和7年「駒草」の創刊、昭和19年「駒草」休刊(夫とひとり息子を同じ年に失い、戦争の熾烈化などによる)となり、東京から仙台の娘を頼りに疎開する。『葉柳に...』の内容はここで終章になる。それ以後は仙台がみどり女の活動舞台となり、「駒草」の復刊とともに新しい戦後作品が開花する。

筆者は「調べる程に書く程に女流俳人草創期といわれる人達の、つつましくもひたすらな、俳句に対する熱心さにいつか心を惹かれてしまった」と述べているが、資料を冷静に整理して事実を記述することに徹した「ノート」は、それだけに迫力を持っている。それにもまして美しい文章の見事さに拍手を贈りたい。

図書館からのお知らせ

図書館法制定50周年記念事業

みやぎゆかりの先哲たち～相馬黒光

日時= 8月6日(日)午後1時30分～
講師= 西村真一氏(共立女子大学教授)
定員= 先着150人(電話で申込必要)
申込先/企画協力班企画担当 TEL022-377-8444

図書館の写真展

日時= 10月31日(火)～11月5日(日)

講演会&シンポジウム

日時= 11月3日(金)午後1時～

ライブラリー・ミニ・コンサート

日時= 11月5日(日)午後2時～
内容の詳細は県政だより等でお知らせします。
ぜひ、ご参加ください。

2000年は「子ども読書年」
「図書館法制定50周年」です。
祝日も開館しています。

図書館 Q & A

Q 字幕・手話付きビデオ、録音図書を利用したいのですが。

A 宮城県内にお住まいで身体障害者手帳をお持ちの方(録音図書は、読書に障害のあるすべての方)が利用できます。来館できない方には、郵送貸出(郵送料は図書館で負担)もおこなっています。5点まで、30日間貸出します。

利用の手順は、次のとおりです。

利用カードを作る

(企画協力班企画担当 TEL022-377-8444/FAX022-377-8484)

貸出を申し込む

(視聴覚資料担当 TEL022-377-8446/FAX022-377-8490)

直接来館、郵便、電話、FAXで申込みができます。

このコーナーへのご質問は、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、はがきで図書館だより係までお寄せください。

ことばのうみ

題字 作家・高田 宏氏

本誌タイトル『ことばのうみ』は、本館第8代館長・大槻文彦編者による日本最初の近代的国語辞典『言海(げんかい)』(1889～1891年刊行)に由来する。

第5号 2000年7月発行

編集・発行 宮城県図書館

〒981-3205 仙台市泉区紫山一丁目1番地1
TEL022-377-8444(代表) FAX022-377-8484
http://www.pref.miyagi.jp/library

本誌は、再生紙を使用しています。



表紙エッセイ/石井桃子さん

いしい・ももこ。児童文学者、作家、翻訳家。1907年埼玉県生まれ、東京都在住。日本女子大英文学卒。著書に『ノンちゃん雲に乗る』『子どもの図書館』など。翻訳は『クマのプーさん』など多数。1945年に、宮城県栗原郡鶯沢町(当時の鶯沢村)に疎開し、「ノンちゃん牧場」を開き酪農を営む。4年ほどで東京に帰ったが、1956年から2年間、鶯沢小学校で読書指導にあたった。1953年菊池寛賞受賞。